

二酸化塩素タブレット「AC plus」の实地試験（消臭）

—試験報告書—

試験番号：217097N



株式会社 食環境衛生研究所

群馬県前橋市荒口町 561-21

Tel027-230-3411

Fax027-230-3412

1. 表題

二酸化塩素タブレット「AC plus」の実地試験（消臭）

2. 試験番号

217097N

3. 目的

試験資材である二酸化塩素タブレット「AC plus」を実地に適用して、その効力を確認することを目的として実施した。

4. 試験管理組織

試験依頼者の名称及び所在地

名称 株式会社 ASK

所在地 名古屋市天白区植田南 2 丁目 111 HP 植田ビル 2F 20-C

実施機関の名称、所在地及びその長の氏名

名称 株式会社 食環境衛生研究所

所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21

氏名 代表取締役 久保 一弘

試験実施責任者の氏名

鈴木 達也

5. 試験実施施設

試験実施施設の名称及び所在地

名称 株式会社オールドアンドニュー

所在地 東京都豊島区目白 2-16-22 久野ビル 3F

試験室 事務所及び応接室

6. 試験期間

実地試験実施日：2021 年 5 月 28 日

7. 試験資材

二酸化塩素タブレット「AC plus」

8. 試験設計

| 試験室 | サンプリング時点 |
|-----|------------|
| 事務所 | 開始時及び 60 分 |
| 応接室 | 開始時及び 60 分 |

9. 試験方法

- ①試験実施施設の事務所及び応接室のおおむね中央に、臭気源を設置した。
- ②一定時間静置した後、ガス検知管（株式会社ガステック、No.3L）を用い、試験室内のアンモニアガス濃度を測定し、開始時の値とした。
- ③開始時の測定終了後、試験資材を取り付けた空調を稼働した。なお、試験資材の取り付け及び空調の設定は試験依頼者が実施した。
- ④事務所については、空調稼働後 60 分に、応接室については空調稼働後 60 分及び 90 分に②と同様にアンモニアガス濃度を測定した。

10. 結果

試験結果を表 1 に、事務所及び応接室におけるアンモニア濃度の推移をグラフ 1 及びグラフ 2 に示す。

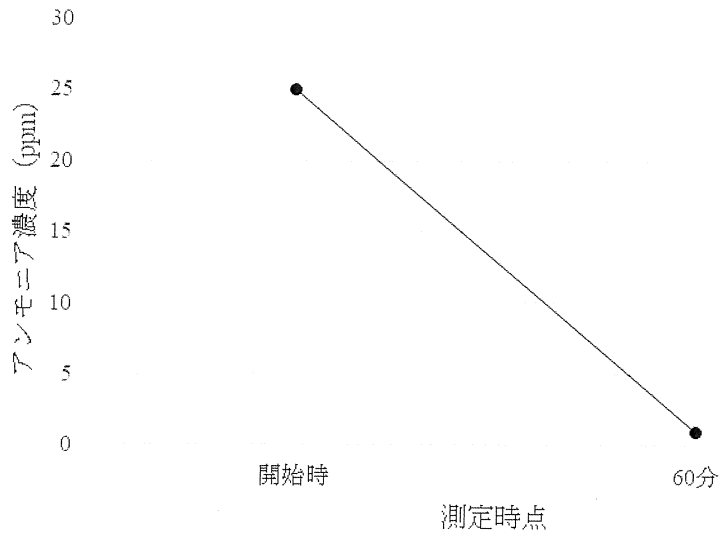
事務所については、試験資材を取り付けた空調を稼働した場合、60 分でアンモニア濃度は 25 ppm から 1 ppm に減少した。

また、応接室については、試験資材を取り付けた空調を稼働した場合、60 分でアンモニア濃度は 15 ppm から 5 ppm に減少し、その後、90 分までは 5 ppm であった。

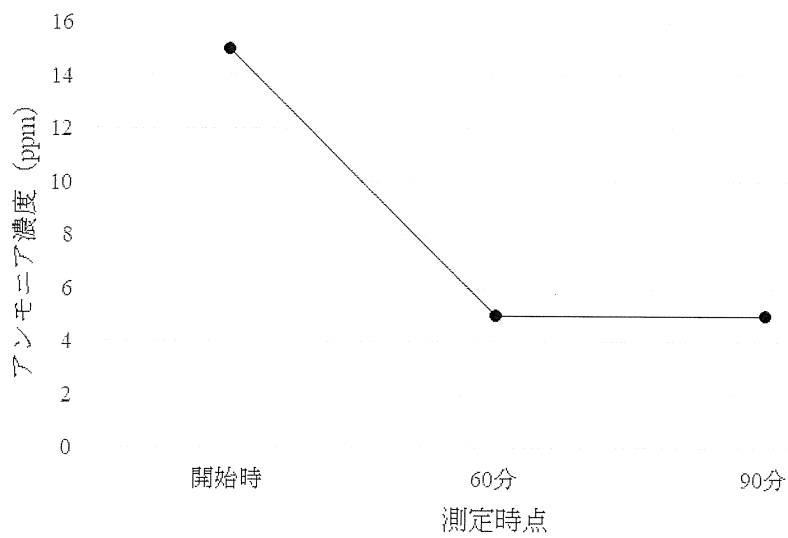
よって、試験資材である二酸化塩素タブレット「AC plus」を取り付けた空調を稼働した場合、アンモニア濃度が減少する可能性が示唆された。

表 1:試験結果

| 試験室 | アンモニア濃度 (ppm) | | |
|-----|---------------|------|------|
| | 開始時 | 60 分 | 90 分 |
| 事務所 | 25 | 1 | - |
| 応接室 | 15 | 5 | 5 |



グラフ 1：事務所におけるアンモニア濃度の推移



グラフ 2：応接室におけるアンモニア濃度の推移